

訪米阻止斗争総括シリーズ NO.1

11/20

全市大の学生・陳生・教職員の諸君。

佐藤首相は、17日朝、まさに雨の降りしきる中を、数行の機動隊の厚い壁に守られながらマメリカへ出発した。

しかしより、安保自動車長・沖縄核付を五箇・70年代開拓土農業開拓編と海外輸出を目指す政府独占の野望は、訪米阻止斗争にステップモードを起した庄倒的辻田首・陳生・市民の斗争によって必ずや粉碎されるであろう。

確かに、佐藤訪米を許さほしたが、我々はそのことを以て一連純に時代とするのではなく、一方斗争の中を形成していくに随筋的力関係と斗争の新たに質と量を踏みえる出で、今後の展望を明らかにするには貞の結括であると言ふ。

たゞる根柢から、種々の差に因る結果を示しておこしと、数回にわたりて明らかにさることのである。

我々は、タケキッタ。

11・13斗争を終訂討伐団
ストレーベン帶し、全土開拓
千五百日の隊列でヨリ
抜く。

54年度のストレーベン節を告じ67年度参加による
11・13斗争は、戦後最大規模の政治ストリートとして
斗争された。沖縄では、抗議に併する全
基民抗議ストラヨウヒ、那覇で10万人集会を
主に署名前では庄倒的な座り込みなどをとら
れた。

訪米阻止学生斗争は、たゞる沖縄にそ
ける斗争の高揚とともに連帯した日本の中
心をはっきりと手持し、連帯する中でヨリ投
じた。中央島嶼崎公團の全国西學生總決起集
会で、廿上庄田保民共事務局長の連帯の

アピールを受けた学友は、裏方に簽評文を記

評主催の闘争集合に結集し、上田及安保府民
共三刷義長（解放同盟ナ阪府連）のアピール
を受けると共に、千五百の隊列で、三千の参
加者市民と共に戦う約モモをヨリ投じた。

16・17中中央ココロ甲子を反対安
保全日早行天女・現地斗争
争里行天女と甘く、ナム衆
的戦斗的ヨリヨリ。

たゞる地方ニ至る踏みえつて政治集会とし
ての中止斗争に全國西散百の隊列で参加した。
16日、代々木公園で開催された反安保全日早
行天女行天女と甘く、ナム衆
して参加し、10万の労働者・市民と千名の隊
列で愚比寿までの用賀ある、日つて東洋のア
テモをなうとした。勿論、我々は、この日、
ナムで斗われた中央三聖唐前集会に参加し、
唐前公園なら申中央郵便局前までアテモを貴重
するここと。て中央斗争との連帯をなちと
った。

更に17日には、社全競争権力の懸濁と一定
の右翼日和見主義的部力の空き上げに肩し
集会を中止したにもかゝわらず、我々は現地
斗争進行苦と共に、皇朝の時から太田区民広
場（大郷川原）で集会を貴重した。度急な
うれ田生老へのアヒは、官憲の不当な彈圧に
ヨリ極く一部しか行つりえなかつたけれども、
トロ語取をヨリモリ次ヒノを投げると同時に矯
小化し、民青派全員の無対応に終始する中
で、唯一最後まで斗争抜いたことを明確に統
括しなければならない。

全市大の尊友・陳生・教職員の諸君。

たゞる斗争を踏まえつて、訪米阻止の内実、
即ち、居住破棄・沖縄暴政抑止時全面反

13-17佐藤訪米阻止斗争の圧倒的高揚のもと 70年代斗争の勝利的展望をかちどる！

佐藤訪米阻止学生共実行委